

### ○すまうら水産共販枚数

汐回	乾のり枚数（枚）
2	637,200
3	2,019,600
4	3,689,100
5	4,825,500
6	3,437,700
7	2,227,300
8	2,954,700
9	4,859,400
10	2,774,800
11	3,383,300
12	3,044,400
合計	33,853,000



のりの束



のりの束が入った箱

乾のり枚数は、まず、すまうら水産が生産工程においてカウント（乾燥後に機械が自動カウント）する。それを100枚を1束にまとめて紙帯をかけ、36束を1箱に詰めて共販にかけるが、共販前に第三者（検査員）が再度全数チェックするため、極めて正確な枚数である。なお、他組合で生産されたノリをすまうら水産で乾燥することはない。

### ○すまうら水産水揚げ量

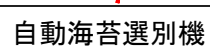
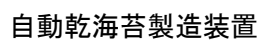
水揚げ量は、兵庫県漁業協同組合連合会が定めている「乾のり格付規格」で乾のりの重量を330g（100枚あたり）としており、これに沿って生産していることから、以下のとおり計算できる。

$$330\text{g} \times 33,853,000\text{枚} \div 100\text{枚} \times 10^{-6} = \underline{111.71 \text{ (t)}}$$

#### （参考）＜乾のり格付規格＞

ハ.規 格	
形 態	縦 21cm 横 19cm
重 量	330 gを基準とする
乾 燥 度	水分量12%以下（共販時）
塩 分	2%以下
夾 雑 物	夾雑物の混入しない物
1束の枚数	100枚

ノリは収穫後、自動乾海苔製造装置で整形・乾燥され、自動海苔選別機で選別・カウントされる。



**GSM型異物選別機 運転モニタ 枚数表示について**

運転モニタで枚数は確認出来ます。検査後、各枚数がカウントされます。

枚数表示部



図 1

①	良品枚数	良品枚数を表示します。
②	形状不良	穴/破れ、幅欠け、カド欠け等の破れの枚数と不良率を表示します。
③	異物不良	透過、表反射、裏反射、重なりの合計枚数と不良率を表示します。
④	透過/テグス	海苔内部に透き込まれている中異物の枚数と不良率を表示します。
⑤	表反射	海苔表面の異物枚数と不良率を表示します。
⑥	裏反射	海苔裏面の異物枚数と不良率を表示します。

この部分を押すと詳細な不良枚数表示に切り替わります。

図 2



図 3

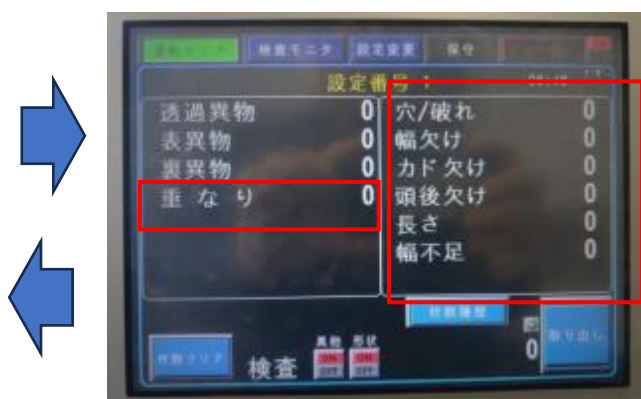


図 3 の説明になります。

①	穴破れ	穴、破れの不良枚数を表示します。
②	幅欠け	海苔左右両サイドの欠けの不良枚数を表示します。
③	カド欠け	海苔四隅の欠けの不良枚数を表示します。
④	頭後欠け	海苔前後の欠けの不良枚数を表示します。
⑤	長さ	海苔長さが短い不良枚数を表示します。
⑥	幅不足	海苔幅が短い不良枚数を表示します。
⑦	重なり	2 枚の海苔が前後ずれての重なり、2 枚の海苔が完全に重なった場合の不良枚数を表示します。

不良の優先順位は重なり→透過→裏反射→表反射→形状になります。

不良は優先順位が高い不良の排出先へ排出され、その不良のみがカウントされます。

(例) 重なった海苔に異物、破れが入っていた場合

優先順位の高い重なりの排出先へ排出され、重なりがカウントします。

異物、形状はカウントしません。検査モニタは重なり、異物、形状不良が表示されます。

図 2 では異物不良がカウントされます。

透過異物、表異物、裏異物、重なりの合計が図 2 の異物不良枚数になります。